

記入例と解説

IV) 壁の割合

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする。(別紙1、2より算定)

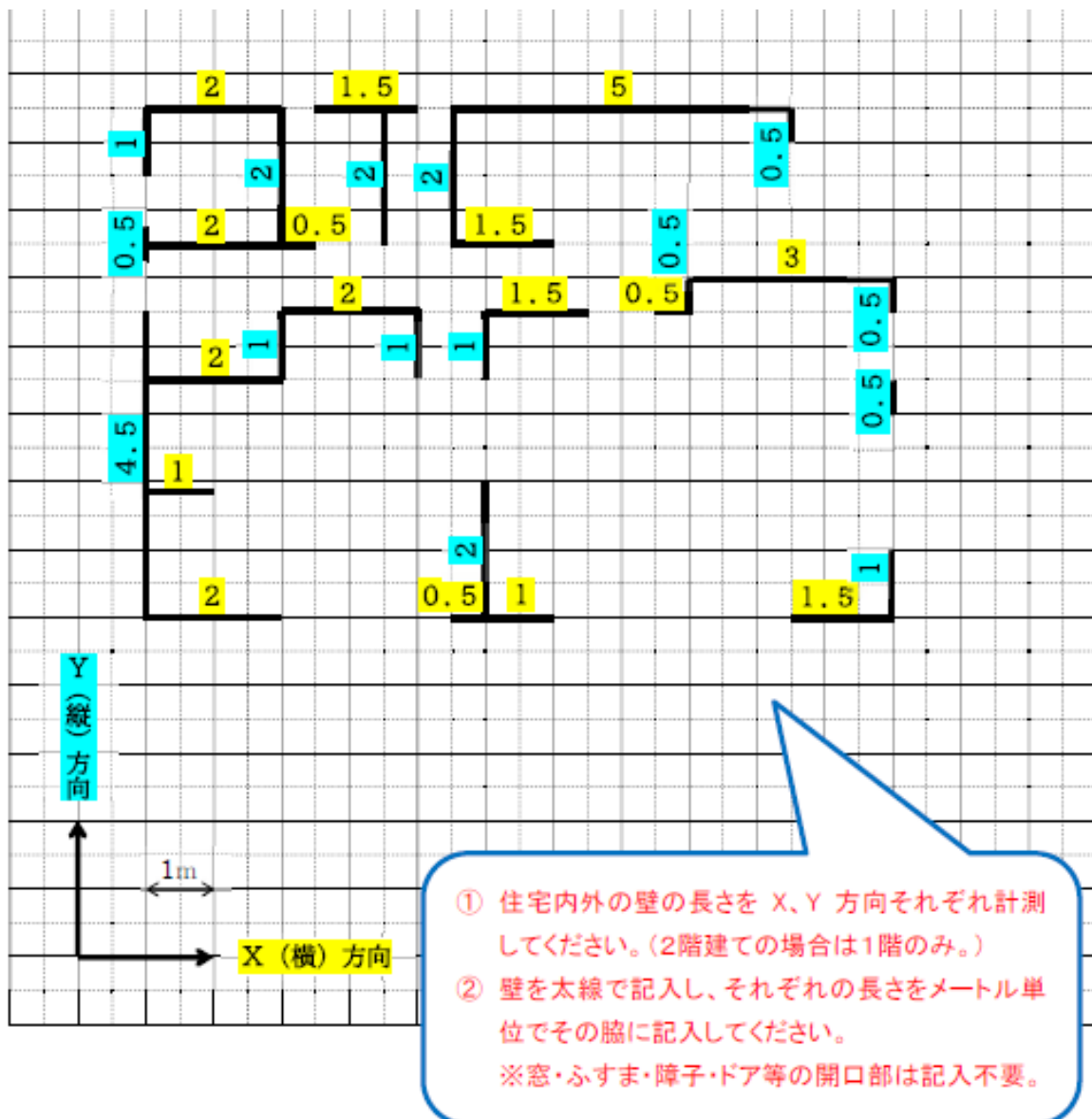
| | (イ) | (ロ) | (ハ) | (ニ) | (ホ)壁の割合 |
|----|---------|---------------------|------|------|---------|
| 方向 | 壁の長さ(m) | 建面(m ²) | イ/ロ | 必要値 | ハ/ニ |
| X | 27.5 | 75 | 0.37 | 0.20 | 1.85 |
| Y | 20.0 | 75 | 0.27 | 0.20 | 1.35 |

IV) 壁の割合 記入用紙

壁の長さの計測

壁の長さを計測して記入してください。

- ・1 cmで1mとして記入してください。
- ・5 mm方眼です。
- ・計測した長さをそのわきに記入してください。
- ・窓、ふすま、障子、ドアなどの開口部は記入不要です。
- ・2階建ての場合は1階部分のみ記入してください。



(イ) 壁の長さの合計

① X (横) 方向

①

27.5

m

建物のX方向の壁の長さの合計を記入。

② Y (縦) 方向

②

20.0

m

建物のY方向の壁の長さの合計を記入。

①②のうち小さいほうを記入してください。

イ

20.0

m

平面図から、面積を㎡単位で求めて記入。
(2階建ての場合は1階のみ。)

(ロ) 面積

ロ

75

㎡

(ハ) 単位面積あたりの壁の長さ

イ

20.0

÷

ロ

75

=

ハ

0.27

(ニ) 必要な壁の長さ

ニ

0.20

m

下表から該当するものを選んで記入。
※本解説では、平屋の軽い屋根として選択しています。

下の表から該当するものを選んで記入してください。

| 屋根の種類 \ 階数 | 平家 | 2階建 |
|---------------------------|------|------|
| 軽い屋根 (鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等) | 0.20 | 0.52 |
| 重い屋根 (かや葺・瓦葺等) | 0.27 | 0.59 |

(ホ) 壁の割合

ハ

0.27

÷

ニ

0.20

=

ホ

1.35